

新・日本の近代史

最終講義・修了式 R.3.3.17



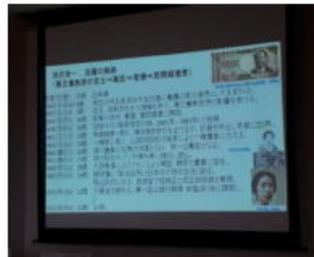
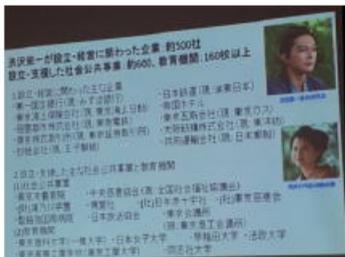
今期は終始コロナ禍で何かと制限の多い活動を余儀なくされました。2月に入り休校となり、ONCC教務部・講師の先生方にはカリキュラムの変更・調整にご苦労頂き無事に最終講義日を迎えました。最終の学習テーマは「戦後改革と新憲法」。現在の日本の政治・経済・社会情勢に直結する課題だけに、受講生の皆さんは、興味津々、真剣に聞き入っておられる様子でした。

(8期 新・日本の近代史 クラス広報担当)



力作発表の一部です！

- ・太平洋戦争は何故起きたのか？
- ・紙幣になった偉人たち
- ・新・日本の近代史を受講して



猪谷理事長のメッセージを代読されました (藤本理事)



精勤証書が入江クラス代表に授与されました

これまでの社会の肩書き



男性も女性もひとりの人間として

知識とスキルの習得

ONCC 共に学ぶ喜び

定期的行動

今日、行くところがある(教育)
今日、用事がある(教養)

知的好奇心の満足



原田講師からもご挨拶を頂きました

2021年3月3日

8期生 記録担当 4班

2021年1月13日(水)学習講座が始まった途端に、コロナ感染が終息に向かわず拡大し始め、首都圏で緊急事態宣言が発出され、関西でも大阪府を中心に京都府・兵庫県の3府県合同の緊急事態宣言が発出される事態が起きました。

多数の人の集まりが三密で感染拡大の温床に繋がらない様に自粛要請のお陰で1月17日の感染数をピークに下降線を辿っており2月17日から茨木校も再び開校になりました。久しぶりではありますが講座時間も午前と午後の2時間、2班に分かれて受講が実施され、以前の状態に戻る前に8期生は4回を残すのみとなり残念でなりません。

<クラス活動を再開>



2月17日・24日は島田先生午前の講義で日中戦争の開始からアメリカとの戦争開始までの社会情勢全般から国民の生活環境の細部まで説明をされ苦難の時代の日本の姿を教えていただき驚きと悔しい時代を過ごしたが、次世代には2度とこの様な事態にならない様に願う次第です。

受講生の皆さん・担当して下さったCAの高橋俊之さん 藤原清子さん御苦勞様でした。そして歴史担当講師の原田敬一先生・島田茂生先生 有難うございました。先生方からいただきました資料を基に再度確認勉強を致したいと思います。



新・日本の近代史 クラスの活動報告

2020年12月23日

8期生 報告担当 3班

第8期は2020年4月に開校予定でしたが、コロナ禍のため9月開講となり、また11月後半からはコロナ感染拡大防止のため午後の活動が中止となりました。

しかしONCCのスタッフの皆様が何度も代替スケジュールの編成を検討下さった結果、開講が5ヶ月も遅れたにもかかわらず、メインの学習テーマはすべて受講できるカリキュラムとなっていて、驚くとともに感心、感謝しています。

現在その改訂カリキュラムどおりに第1回（9月2日）から第13回（12月9日）まで予定どおり順調に進行しております。当初日程からの変更、講師の先生方とのスケジュール調整、3密を避けるため従来よりも2～3倍広い会場（教室）の確保等さまざまな困難があったと推察いたします。

講義の内容についても、原田敬一先生、島田茂生先生ともに非常に博識で、私たちが全く知らなかったこと、また表面的にしか知らなかったことを次々に深掘りして教えて下さり、毎回2時間の講義時間があっという間に終わります。

両先生ともに各回のテーマに沿った参考文献をレジュメの最後に付記して下さっているのは、この講座が終了した後もこれらの参考文献を購読することにより、自分の好み、考えに沿ったテーマをさらに深掘りできることが勉強を継続できる有益な手助けになると考えます。

一班内検討会議の様子(11月11日)一



3班では圧縮されたスケジュールの中にあっても、東郷滋氏をリーダーとして、11月4日(水)に“大阪中之島界隈の橋、建築物”の見学会と11月21日(土)に“吹田吉志部文人墨客迎賓館、旧中西家住宅”の見学会を行いました。

“橋、建築物”の見学では江戸時代大坂では幕府や藩が作った橋よりも有力商人の力で作った橋のほうがはるかに多かったことを知り、驚くとともに、大坂商人の財力に敬服いたしました。

“旧中西家住宅”の見学では吹田地方は江戸時代、相当な田舎だったと考えられるのに、多くの日本一流の文化人（画家、書家、俳人等）を呼び寄せるだけの財力と文化的な素養を持っていたことがうかがわれ、江戸時代の大庄屋の力に感心させられました。

—中之島界限の見学（11月4日）—



大阪府立中之島図書館



水晶橋



大阪市中央公会堂

—旧中西家住宅の見学（11月21日）—



旧中西家住宅 枯山水庭園



客間襖絵

以上

2020年11月25日

8期生 記録担当 2班

11月の学習は日本を取りまく、東アジアの国々との関わり、西欧諸国の東アジア進出などの背景を教えていただいた。

特に私は、日清戦争、日露戦争、朝鮮、台湾への進出などは断片的知識でしたが詳細なつながりが分ってきました。



授業風景



班別検討会

コロナウィルス感染対策で予定していたクラス全員の「大阪起業家ミュージアム」見学会は中止となりました。

班別の活動も感染対策の制約の中で進めて来ましたが、今後の活動では一層制約が厳しくなるようです。

- 1) 班別の懇親会の開催（密にならないように実施）
 - 2) 班別の史跡などの見学
 - 3) 学習成果発表会テーマの検討
- などを進めて来ました。



(3班の活動報告より)

年末を控え、特に我々高齢者はコロナウィルス対策に十分に注意していきたいと思います。

以上

新・日本の近代史 クラスの活動報告

2020年10月14日

8期生 茨木教室 報告担当 1班

私たちのクラスは9月になってやっと開校しました。クラスの班分け、オリエンテーションなどを経て講義が始まりました。

クラス活動は茨木市社会福祉会館（市役所の向い側のビル）の教室で水曜日に講義が行われ、43名／4班の体制で進めています。



10月14日は午前中の全体講義を行ったのち、午後は班別活動の時間で、班別に活動計画の議論、また班内の懇親会などと動き出したところです。

講師の先生、CAさん、クラスメンバーと楽しく力を合せて学んでいきたいと思っています。



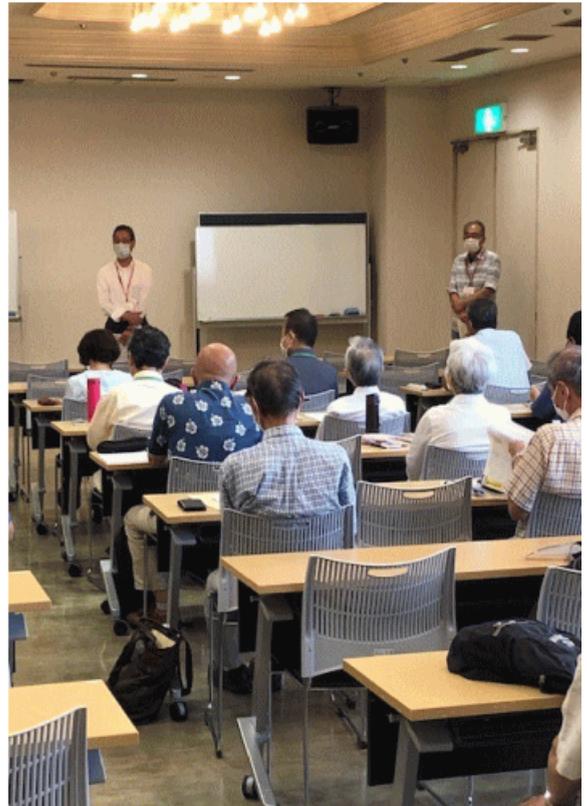
色々とお世話になりますがよろしくおねがいたします。

～新しい視点で日本近代史を学ぶ～

新・日本の近代史

8期生 茨木教室

2020.9.2 (水) 「19世紀の世界」と題して講師：原田 敬一 先生で第1回目が始まりました。
午後はオリエンテーション(自己紹介など)。



今日のひと言 より

- コロナ拡大の中今年が開校されないであろうと諦めていた。講義が始まり、同じ目的を持った皆さんと学ぶことができ嬉しいです。
- ペリー来航は、大きく変化する時代だけに、もう少しゆっくりとお話を聞きたいものです。
- 学生の頃、日本史で学んだ事を、少しよみがえったように思いました。
- 8世紀初頭までは、中国圏のGDPが西欧を上回っていて、西洋は東洋にぶら下がっていた。逆転するのはその後の産業革命だったと聞いておどろく。

【クラスアドバイザーコメント】

- 新型コロナウイルス感染症への対応等、受講生皆さんから全面的なご協力を頂いた。
- 久しぶりの受講楽しかった様子が伺えた。
- マイクの音量など、受講生にとって聞き辛いところがあり、今後調整したい。

2020.9.9(水) 第2回「開校と貿易」講師：島田 茂生 先生 午後：オリエンテーション(役員選出など)

今日のひと言 より

- 講義の中に映像が沢山あったので楽しく聞きました。
先生がマスクをなさっているので、聞き取りにくかったです。前2列を空けて頂ければよいのではないですか。
- 日米修好通商条約は不平等条約と言われているが、当時の日本においては致し方のない事であったと理解した。また当時の幕閣がだらしないではなく、しっかりしていた事を知る。
- ノルマントン号事件によって国民に不平等条約を改正していこうとする動きが高まったことは、すばらしい。